

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年10月24日(2013.10.24)

【公開番号】特開2013-57077(P2013-57077A)

【公開日】平成25年3月28日(2013.3.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-015

【出願番号】特願2012-254381(P2012-254381)

【国際特許分類】

C 09 J 133/14 (2006.01)

C 09 J 11/04 (2006.01)

C 09 J 11/06 (2006.01)

C 09 J 133/00 (2006.01)

C 09 J 7/02 (2006.01)

C 09 J 9/02 (2006.01)

【F I】

C 09 J 133/14

C 09 J 11/04

C 09 J 11/06

C 09 J 133/00

C 09 J 7/02 Z

C 09 J 9/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月5日(2013.9.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の工程(1)～(3)を備えた光学部材用の帯電防止アクリル粘着剤の製造方法。

ブチル(メタ)アクリレートおよび2-エチルヘキシル(メタ)アクリレートの少なくとも一方、水酸基を有するアクリル系モノマー、アルキレンオキサイド鎖を有するアクリル系モノマーを含むモノマーを溶液重合することでアクリル系共重合体(A)を得る工程(1)

リチウム、鉄、銅、ナトリウム、カリウムおよび4級アンモニウムからなる群より選択される1種の陽イオンを含むイオン化合物(B)を配合する工程(2)

3官能イソシアネート化合物である硬化剤(C)を配合する工程(3)

【請求項2】

前記アクリル系共重合体(A)の重量平均分子量が5万～100万であることを特徴とする請求項1記載の光学部材用の帯電防止アクリル粘着剤の製造方法。

【請求項3】

請求項1または2の製造方法で得た光学部材用の帯電防止アクリル粘着剤は、23～65%RH霧囲気でのガラス板に対する180度ピール、引っ張り速度300mm/分での粘着力が100g/25mm以下であることを特徴とする光学部材用の帯電防止アクリル粘着剤。

【請求項4】

以下の工程(4)および(5)を備えた光学部材用保護フィルムの製造方法。

請求項 1 または 2 記載の製造方法で得た光学部材用の帯電防止アクリル粘着剤を基材または剥離シートに塗工または含浸し、乾燥・硬化することで粘着剤層を形成する工程（4）

前記粘着剤層に基材または剥離シートを被覆または積層する工程（5）

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

即ち、本発明は、以下の工程（1）～（3）を備えた光学部材用の帯電防止アクリル粘着剤の製造方法である。

ブチル（メタ）アクリレートおよび2-エチルヘキシリ（メタ）アクリレートの少なくとも一方、水酸基を有するアクリル系モノマー、アルキレンオキサイド鎖を有するアクリル系モノマーを含むモノマーを溶液重合することでアクリル系共重合体（A）を得る工程（1）

リチウム、鉄、銅、ナトリウム、カリウムおよび4級アンモニウムからなる群より選択される1種の陽イオンを含むイオン化合物（B）を配合する工程（2）

3官能イソシアネート化合物である硬化剤（C）を配合する工程（3）

また、本発明の別の態様は、側鎖に水酸基及びアルキレンオキサイド鎖を有する、水酸基を有するモノマー1～30重量%を含むモノマーを溶液重合してなるアクリル系共重合体（A）（ただし、カルボキシリ基を有するものを除く）、リチウム、鉄、銅、ナトリウム、カリウムおよび4級アンモニウムからなる群より選択される1種の陽イオンを含むイオン化合物（B）及び3官能イソシアネート化合物である硬化剤（C）を含有し、23-65%RH霧囲気でのガラス板に対する180度ピール、引っ張り速度300mm/minでの粘着力が200g/25mm以下であることを特徴とする光学部材用の再剥離性帯電防止アクリル粘着剤である。